

平成 23 年度埼玉県博物館連絡協議会第 2 回役員会会議録

【開催期日】平成 24 年 3 月 21 日（水） 10 時 30 分～12 時 00 分

【開催場所】埼玉県立歴史と民俗の博物館 会議室

【出席者】役員 矢部 保雄（歴史と民俗の博物館長）
山形 洋一（さいたま市立漫画会館長）
山崎 登貴子（山崎美術館長）
坪田 幹男（ふじみ野市立大井郷土資料館長）
実松 幸男（春日部市郷土資料館長）
井上 肇（さきたま史跡の博物館長）
西 勝寿（秩父美術館・仏教資料館）
事務局 浅野 晴樹（歴史と民俗の博物館 副館長）
井上 尚明（同上 主席学芸主幹）
二階堂 実（同上 学芸主幹）
山田 昌紀（同上 主任）
栗原 芳典（同上 主事）

【会議内容】

1 報告

退会館及び新規入会館について【役員会資料 1】

退会館 : 「長瀬総合博物館」

平成 23 年度一杯で退会するとの連絡あり

新規入会館 : 「財埼玉県学校給食会 学校給食歴史館」（平成 23 年度入会）

平成 23 年 7 月 13 日付けで入会届が提出され、入会届を受理

「鈴木酒造株式会社 酒造資料館」（平成 24 年度入会）

平成 23 年 12 月 12 日付けで入会届が提出され、平成 24 年
4 月 1 日からの入会として受理

名称変更 : 「鳩ヶ谷市立郷土資料館」が川口市鳩ヶ谷市の合併により、

「川口市立文化財センター分館郷土資料館」に名称を変更

上記の 4 件を事務局より報告。

2 議題

(1)平成 23 年度事業報告（案）について【役員会資料 2】

- ・事務局より報告し承認される。
- ・ブロック会議については各ブロックから総会で報告。
- ・IT 運営委員会より委託したホームページデザインが完成、承認され次第更新。

(2)平成 23 年度決算報告（案）について【役員会資料 3】

- ・事務局より報告
- ・「大風会館」が震災被害により会費免除依頼を提出したので会長決裁で免除したが、「財学校給食会 学校給食歴史館」が新規加盟したため増減はない。
- ・【別紙】に補足説明あり。

(3)平成 24 年度事業計画（案）について【役員会資料 4】

- ・事務局より提案し承認される。
- ・平成 24 年 4 月 20 日に役員会・総会を開催予定。
- ・退会館と新規加盟館もあるため埼博連マップを更新予定。
- ・チーフ館会議で提案されたイベント用品として「イベント用のぼり」を作成予定。
- ・チーフ館会議で提案したリスクマネジメント検討委員会（仮称）を設置、運営予定。
災害時マニュアルのない館が半数以上あることをうけ、相互協力等を検討していく。
- ・【別紙】に補足説明あり。

(4)平成 24 年度予算（案）について【役員会資料 5】

- ・事務局より提案し承認される。
- ・【別紙】に補足説明あり。

質疑応答

Q. 埼博連マップ、1 館 100 部ずつについて。小さい館も大きい館も同じ 100 部というのはどうだろうか。（山崎美術館）

A. 総会で意見を集めたい。

Q. 【資料 5】の会費収入比較増減内訳について
学校給食会は 23 年度入会ということだが、24 年度予算案で新規入会となっている（さきたま史跡の博物館）

A. 23 年度予算と比較してなので、ここを出さないと -10000 円となるので、ここで調整している。また総会では出さない事務局資料である。

意見 リスクマネジメントは是非やってもらいたい。小さな館や民営博物館にはありがたい。（春日部市郷土資料館）

(5)その他

○東日本大震災による被災者支援の無料入館について

県立の 9 施設は既に平成 23 年 4 月 16 日から無料化を実施した。趣旨に賛同していただいた館は 72 館となった。

県立館は平成 24 年 3 月 31 日をもって無料入館を終了するので賛同していただいた館にも、このことを周知する。

○大風会館のような事例に関連して免除規定をどうするか。

さきたま史跡の博物館：

会長決裁があるにしても免除の規定などを定めておいた方が良い。

期間や決裁日などを想定して、定めておけば他館の説明にも役立つ。

事務局：

明文化も含め議題にしていく。事務局でも規定などを検討していく。

○埼博連ホームページについて

山崎美術館：

「さいたまの海」という WEB サイトがあったが、その更新なのか。

事務局：

「さいたまの海」は平成 22 年に廃止し、新ホームページを立ち上げたが、TOP ページがあまりにも味気ないので今年度事業で業者に委託し、新デザインが完成した。4 月 1 日から新デザインに更新する予定。

○大風会館について

春日部市郷土資料館：

大風会館については開館の目途がついておらず、利用者も入館できる状況では、ないとの報告を受けている。

役員館改選について

慣例では 1 館 2 期で運営してきたので、今回で 1 期終えた館にはもう 1 期お願いしたい。2 期務めた館には次の役員館について考えてもらいたい。また、再任は妨げないので可能であればもう 1 期お願いしたい。

上記の様に役員会で呼びかけた。

新役員館については 4 月 20 日の総会での承認をもって決定する。